

1 学年 総合的な学習の時間「パソコンについて学ぶ」学習指導案

月 日	平成28年10月5日(水)
場 所	コンピュータ室
時 間	9:15 ~ 10:45
対 象	1年農業科A組、生活家庭科
指導者	T1 小林 和幸 T2 高山 愛望 T3 村瀬 はるな

1 単元名 『パソコンについて学ぶ』

2 生徒の実態

本単元では、2グループに分けて学習を行う。本グループは、農業科A組8名と生活家庭科8名の計16名で構成されている。1年生活家庭科の生徒は、IQは25～83の間であり、自閉症が7名、自閉症スペクトラムが2名、ADHDが2名、ダウン症候群が1名となっている。

学年として障害の程度や理解度の差が大きい。また、コミュニケーションを苦手としている生徒が多く、学校生活の中で適切な関係を築くことを課題としているため、総合的な学習の時間や生活単元学習では、生徒同士が取り組みやすいグループにしたり、普段関わりが少ない者をグループにしたりと、教師が意図的にグループを指定している。様々なグループを経験しながら、協力して活動に取り組むことができるようにしている。

コンピュータの学習を本学年で行うのは初めてである。生徒がコンピュータの扱いに対してどのくらいの知識や技術があるのかを本単元で見極めるため、今後コンピュータを活用していくための試金石としたい。

3 単元について

仕事や社会生活に必要な不可欠となっているコンピュータとワープロソフトの代表格とも言える Microsoft Word の一般的知識と技術をポスター作品を制作する過程を通して学ぶ。この単元を学ぶことにより、他の単元や教科、作業学習への応用が可能となり、コンピュータの活用頻度が高くなることが期待される。また、学科を越えて仲間と協力して作品制作することで、学年内のコミュニケーション能力の向上が図れる。

本時では、ポスター制作を通して、前時に学んだコンピュータやアプリケーションソフトの使用方法を自分の技術として活用できるかを判断すると共に、仲間と協力して作品を作り上げる達成感や喜びを味わわせたい。そのために、作品制作と共に協調性を意識させる授業を展開する。

4 単元の全体目標

- ・ パソコンの基本的な使用方法を知ることができる。
- ・ アプリケーションソフトを使用して作品を作ることができる。

5 指導計画

	日 時	学習内容	目 標	使用教材
1	平成28年 10月4日(火) 2,3,4校時	・コンピュータの基本操作について ・Wordの基本操作について	・Windows パソコンの仕組みがわかる。 ・Word の基本的な操作方法を知り、扱うことができる。	学習プリント パソコン
2 本時	平成28年 10月5日(水) 1,2校時	・20周年ポスター製作	・Word を使用してポスター制作ができる。 ・仲間と協力して作品を作ることができる。	学習プリント パソコン

6 本時の全体目標

- ・Word を使用してポスター制作ができる。
- ・仲間と協力して作品を作ることができる。

7 本時の展開

(1) 個別目標

名前	単元目標	本活動に対する実態	本時の目標	手だて	評価
A	・パソコンの基本的な使用方法を理解することができる。 ・アプリケーションソフトを使用して作品を作ることができる。	・教師の助言を基に仲間との協力して、作品を作ることができる。	・Word を使用してポスター制作ができる。 ・仲間と協力して作品を作ることができる。 ・ローマ字表を見てローマ字入力ができる。	・サンプルを加工することから始めることで達成感を味わわせつつ、完成に導く。 ・ペアの関わりが少なくなったとき、指示や言葉かけを行う。 ・ローマ字表を配布する。	
B	・パソコンの基本的な使用方法を理解することができる。 ・アプリケーションソフトを使用して作品を作ることができる。	・仲間と協力して、作品を作ることができる。	・Word を使用してポスター制作ができる。 ・仲間と協力して作品を作ることができる。	・サンプルを加工することから始めることで達成感を味わわせつつ、完成に導く。 ・ペアの関わりが少なくなったとき、指示や言葉かけを行う。	
C	・パソコンの基本的な使用方法を理解することができる。 ・アプリケーションソフトを使用して作品を作ることができる。	・仲間と協力して、作品を作ることができる。	・Word を使用してポスター制作ができる。 ・仲間と協力して作品を作ることができる。	・サンプルを加工することから始めることで達成感を味わわせつつ、完成に導く。 ・ペアの関わりが少なくなったとき、指示や言葉かけを行う。	

D	・パソコンの基本的な使用方法を理解することができる。 ・アプリケーションソフトを使用して作品を作ることができる。	・仲間と協力して、作品を作ることができる。	・Wordを使用してポスター制作ができる。 ・仲間と協力して作品を作ることができる。	・サンプルを加工することから始めることで達成感を味わわせつつ、完成に導く。 ・ペアの関わりが少なくなったとき、指示や言葉かけを行う。	
E	・パソコンの基本的な使用方法を理解することができる。 ・アプリケーションソフトを使用して作品を作ることができる。	・仲間と協力して、作品を作ることができる。	・Wordを使用してポスター制作ができる。 ・仲間と協力して作品を作ることができる。	・サンプルを加工することから始めることで達成感を味わわせつつ、完成に導く。 ・ペアの関わりが少なくなったとき、指示や言葉かけを行う。	
F	・パソコンの基本的な使用方法を理解することができる。 ・アプリケーションソフトを使用して作品を作ることができる。	・教師の助言を基に仲間との協力して、作品を作ることができる。	・Wordを使用してポスター制作ができる。 ・仲間と協力して作品を作ることができる。 ・ローマ字表を見てローマ字入力ができる。	・サンプルを加工することから始めることで達成感を味わわせつつ、完成に導く。 ・ペアの関わりが少なくなったとき、指示や言葉かけを行う。 ・ローマ字表を配布する。	
G	・パソコンの基本的な使用方法を理解することができる。 ・アプリケーションソフトを使用して作品を作ることができる。	・仲間と協力して、作品を作ることができる。	・Wordを使用してポスター制作ができる。 ・仲間と協力して作品を作ることができる。	・サンプルを加工することから始めることで達成感を味わわせつつ、完成に導く。 ・ペアの関わりが少なくなったとき、指示や言葉かけを行う。	
H	・パソコンの基本的な使用方法を理解することができる。 ・アプリケーションソフトを使用して作品を作ることができる。	・仲間と協力して、作品を作ることができる。	・Wordを使用してポスター制作ができる。 ・仲間と協力して作品を作ることができる。	・サンプルを加工することから始めることで達成感を味わわせつつ、完成に導く。 ・ペアの関わりが少なくなったとき、指示や言葉かけを行う。	
I	・パソコンの基本的な使用方法を知ることができる。 ・アプリケーション	・教師の助言を基に仲間との協力して、作品を作ることができる。	・Wordを使用してポスター制作ができる。 ・仲間と協力して作品を作ることができる。	・サンプルを加工することから始めることで達成感を味わわせつつ、完成に導く。 ・ペアの関わりが少なく	

	ンソフトを使用して作品を作ることができる。			なったとき、指示や言葉がけを行う。	
J	・パソコンの基本的な使用方法を知ることができる。 ・アプリケーションソフトを使用して作品を作ることができる。	・教師の助言を基に仲間との協力して、作品を作ることができる。	・Wordを使用してポスター制作ができる。 ・仲間と協力して作品を作ることができる。	・サンプルを加工することから始めることで達成感を味わわせつつ、完成に導く。 ・ペアの関わりが少なくなったとき、指示や言葉がけを行う。	
K	・パソコンの基本的な使用方法を知ることができる。 ・アプリケーションソフトを使用して作品を作ることができる。	・教師の助言を基に仲間との協力して、作品を作ることができる。	・Wordを使用してポスター制作ができる。 ・仲間と協力して作品を作ることができる。 ・ローマ字表を見てローマ字入力ができる。	・サンプルを加工することから始めることで達成感を味わわせつつ、完成に導く。 ・ペアの関わりが少なくなったとき、指示や言葉がけを行う。 ・ローマ字表を配布する。	
L	・パソコンの基本的な使用方法を知ることができる。 ・アプリケーションソフトを使用して作品を作ることができる。	・教師の助言を基に仲間との協力して、作品を作ることができる。	・Wordを使用してポスター制作ができる。 ・仲間と協力して作品を作ることができる。 ・ローマ字表を見てローマ字入力ができる。	・サンプルを加工することから始めることで達成感を味わわせつつ、完成に導く。 ・ペアの関わりが少なくなったとき、指示や言葉がけを行う。 ・ローマ字表を配布する。	
M	・パソコンの基本的な使用方法を知ることができる。 ・アプリケーションソフトを使用して作品を作ることができる。	・教師の助言を基に仲間との協力して、作品を作ることができる。	・Word を使用して教師とともにポスター制作ができる。 ・教師の助言を基に仲間と協力して作品を作ることができる。 ・教師と共にローマ字入力ができる。	・サンプルを加工することから始めることで達成感を味わわせつつ、完成に導く。 ・ペアの関わりが少なくなったとき、指示や言葉がけを行う。 ・ローマ字表を配布する。	
N	・パソコンの基本的な使用方法を知ることができる。 ・アプリケーションソフトを使用して作品を作ることができる。	・教師の助言を基に仲間との協力して、作品を作ることができる。	・Wordを使用してポスター制作ができる。 ・仲間と協力して作品を作ることができる。	・サンプルを加工することから始めることで達成感を味わわせつつ、完成に導く。 ・ペアの関わりが少なくなったとき、指示や言葉がけを行う。	

O	・パソコンの基本的な使用方法を知ることができる。 ・アプリケーションソフトを使用して作品を作ることができる。	・教師の助言を基に仲間との協力して、作品を作ることができる。	・Wordを使用してポスター制作ができる。 ・仲間と協力して作品を作ることができる。	・サンプルを加工することから始めることで達成感を味わわせつつ、完成に導く。 ・ペアの関わりが少なくなったとき、指示や言葉かけを行う。	
P	・パソコンの基本的な使用方法を理解することができる。 ・アプリケーションソフトを使用して作品を作ることができる。	・教師の助言を基に仲間との協力して、作品を作ることができる。	・Wordを使用してポスター制作ができる。 ・仲間と協力して作品を作ることができる。	・サンプルを加工することから始めることで達成感を味わわせつつ、完成に導く。 ・ペアの関わりが少なくなったとき、指示や言葉かけを行う。	

(2) 協同学習の観点

①「互恵的な相互依存関係」 ②「対面的なやりとり」 ③「個人としての責任」
④「協同学習スキル」 ⑤「チームの振り返り」

本時では、ペアで活動する場面を設定する。ペアでの活動時は、教師はなるべく見守る形で関わるが、活動に行き詰まったり、お互いの関わりが少なくなったりした時、必要に応じて、指示や言葉かけを行う。生徒自身で取り組むことができるように、本時の流れを掲示して見通しを持たせ、生徒たちで解決ができるようにしていく。

(3) 本時の展開

過程時間	学習活動	生徒の活動	教師の活動	教材・教具
導入 (15分)	挨拶	○ 代表者にあわせて挨拶をする。 ○ パソコンを起動する。	○ 生活家庭科直日に号令を促す。 ○ すぐに製作開始できるように、パソコンを起動することを指示する。	パソコン Word スライド
	前時の復習	○ 前時で学んだ内容を振り返る。	○ 思い出せるようにヒントを与え、発言を促す。	
	本時の学習	○ 本時の学習内容を知る ・前時に学んだことを活用し、ペアでポスター制作する。 ○ ペアで話し合いをして、決める。 ・サンプルのどちらを使用するか。 ・役割担当を決める。	○ 本時の内容、流れを説明する。 ○ 制作時間と条件、役割分担を伝える。 ・役割 1 ワードアート ・ 2 画像 ・ 3 文字入力 ※ 1 か 2 を必ず担当する。 ○ サンプルを見て、再度確認する。 ○ 前時のプリントを使用して良いことを伝える。	プリント (前時配布) サンプル (ファイル配布)

			<協同学習の要素や配慮事項> ・ワードアートか画像のどちらかを担当するか各ペアで決める。(①③) ・敬語を使い、仕事としてコミュニケーションを図る。(④) ・ペア同士の関係や話し合いの進み具合に注意をはらう。(配慮⑥⑫)	
展開 (60分)	ポスター制作	○ 協同学習のポイントを知る。 ○ ワードアートを先に行う。 ・約 15 分間 ・随時、上書き保存を行う。 ○ 画像を行う。 ・約 15 分間 ○ 文字入力を行う。 ・約 10 分間 ○ ペアで協力して、最終調整を行う。 ・約 10 分間 ○ 教師に確認して、印刷を行う。 ○ 印刷物を確認し、必要であれば修正を行い、再度印刷を行う。 ・約 5 分間 ○ 早くに作品が 1 つ完成したペアは、2 つ目に取り組む。 ○ 上書き保存を行う ○ Word 終了、シャットダウンをする。 ・キーボードへカバーを掛ける。 ・モニターの電源を切る。	○ 協同学習のポイントを確認する。 ○ 設定時間に応じて、言葉がけをする。 ・時間を意識することを促す。 ・操作方法の技術的な支援を行う ○ 進捗状況に合わせて、印刷方法を説明する。 <協同学習の要素や配慮事項> ・分からないことがあるときには、最初にペアに相談する。(②) ・自分の担当を責任を持って行う。(③) ・ペアで協力して作品を完成させる。(①) ・失敗は肯定的に捉え、操作方法を再確認する。(配慮⑭⑮) ○ 上書き保存を指示する。 ○ 前時と同様に終了することを指示する。	
整理 (15分)	まとめ 次回予告 挨拶	○ 振り返りを行う。 ・自分の担当 ・仲間と協力できたか ・単元の感想 ○ 次回予告 ○ 代表者に合わせて挨拶をする。	○ プリントを配布し、振り返り内容を説明し、書かせる。 ○ 数名に発表させ、コメントする。 <協同学習の要素や配慮事項> ・全員が達成感を感じられるほめ方を工夫する。(配慮④) ○ プリントを回収する。 ○ 次回は生単「社会見学」単元に入ることの説明する。 ○ 生活家庭科日直に号令を促す。	プリント

8 評価

(1) 学習の評価

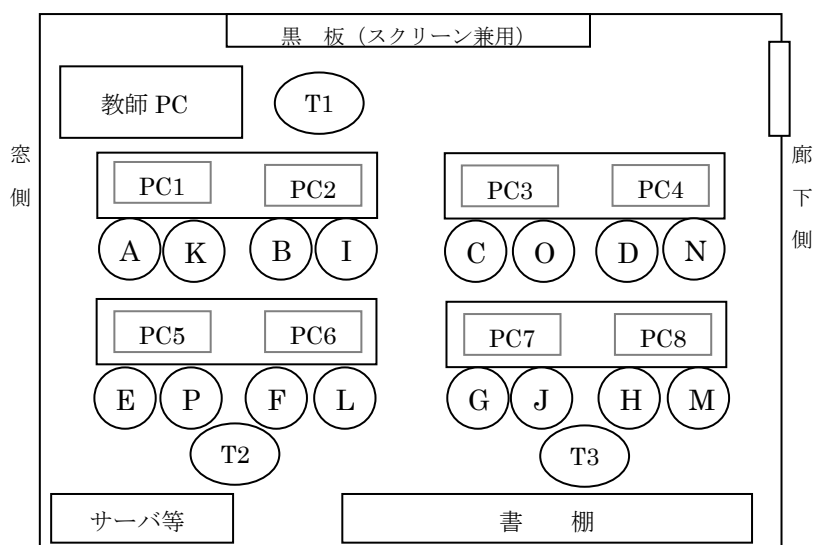
- ア 本時の全体目標は達成されたか。
イ 個別目標の評価は達成されたか。

(2) 授業の評価

観 点			評 価			
授業 の 設 計	① 学習指導案に適切な内容が盛り込まれていたか。 ② 目標・手立ては明確になっていたか。 ③ 導入・展開・整理の流し方や、時間配分は適切であったか。 ④ その他		①結果として、適切だったと思う。 ②明確になっていたが、過度な支援を行ってしまった。 ③開始が遅れたため、その後を調整してまとめへつなげた。			
	① 生徒の学習に取り組む姿は自ら学ぶものになっていたか。 ② 全体・個別に対する働きかけは適切であったか。 ③ T T のあり方（役割の明確、位置等）は適切であったか。 ④ 教材・教具は適切であったか。		①前時に知識・技術を習得し、それを応用させることができた。 ②全体へも個別には過剰な働きかけをしてしまった。 ③関わり方の押さえなど打合せ不足だったが、ST は MT の指示を汲み取って指導してくれた場面もあった。 ④PC2人1台の設定は協同学習には適していたが、知識・技術の習得には1人1台が適している。			
協 同 学 習	①	「互恵的な相互依存関係」	A	B	C	D
	②	「対面的なやりとり」	A	B	C	D
	③	「個人としての責任」	A	B	C	D
	④	「協同学習スキル」	A	B	C	D
	⑤	「チームの振り返り」	A	B	C	D

※A～よくできた B～おおむねできた C～少しだけできた D～十分ではない

9 配置図



10 資料

- ・ 本時の学習プリント（資料1）

1 年 _____ 科 _____ 組 氏名 _____

1 担当の仕事は

(ワードアート ・ 画像 ・ 文字入力)

2 自分の担当の仕事に責任をもって行った。

(はい ・ いいえ)

3 ペアと協力して仕事を行った。

(はい ・ いいえ)

4 パソコンやワードの操作を覚えた。

(はい ・ いいえ)

操作は (やさしかった。 ・ むずかしかった。)

5 単元の感想

・自分が工夫したところや、どんなところでペアと協力できたかなども書こう。

授業参観者アンケート

授業者：小林 和幸
協同学習（各要素）についての評価
①互恵的な相互依存関係 ・①に関して…それぞれがポスターを協力して制作することを目標に取り組み、完成させることができていたので、十分に狙えていました。 ・ポスターを作るという最終目標を先に理解させていたため、取り組みの意欲につながっていました。また、画像なのかワードアートなのか、責任をもたせていて良かったです。 ・導入の①に関して、『ポスターを完成させる』という目標に対して、どのように役割分担をすれば良いのかをペアで考えることができていた。 ・①に関しては、展開の②、③が生かされており、ペアで協力しポスターを完成させることができていました。
②対面的なやりとり ・②対面的なやりとりで、ペア同士でP Cの起動の仕方を教員が指示しなくても、自然に教え合うことができており、協力し合うという基本的な関係ができていると感じました。 ・②に関して…仲間同士で教えあったり、アイディアを出し合ったりする場面がありました。 ・きちんと相談できる人間関係が見られました。普段の学年、学級づくりの成果があると感じました。 ・2人で1つの作品を完成させることで、自然と相談する声が出ていました。到達点が見えたので、取り組みやすい活動になったと思います。 ・展開の中の②に関しては、分からないことをペアで相談したり、色合いなどのアレンジをペアで相談したりしている様子が見受けられていました
③個人としての責任 ・③個人としての責任で、ペアでの役割を自分たちで話し合って決め、役割に責任をもって最後まで取り組むことができて良かったです。また、ワードアートの文字の色、デザインや写真をどれにするか話し合っているペアと、自分の役割ではないときはペアを見守るだけのペアに分かれていたため、自分の役割だけではなく、相手が作成している際も相談し合うことにより①互恵的な相互依存関係、②対面的なやりとりにつながっていくと思いました。 ・役割を画像担当、ワードアート担当と決めることによって、個人の責任を作り出すことができていました。 ・③に関しては、①で決めたことに対して、自分の役割が明確になり、その後の活動が取り組みやすいものとなっていました。 ・③に関しては、画像を選ぶ、ワードアートを変更するなどの役割が明確になっていたこともあり、導入段階で決めたことが生かされていました。 ・③ワードアートで作る担当を決めることで、自分の責任が生まれ、責任を果たそうとしている姿が見られて良かったです。

④協同学習スキル

- ・④に関して…情報機器に関する指導について、基本的な操作の指導を十分に押さえながら、一人では取り組みにくい課題について、仲間と活動することでお互いが教え合いながら学ぶことができていました。
- ・話し合いの中の言葉遣いについては、仲間同士ということもあり、友達口調が出やすい環境であると思いますので、『就労先で働いたときの言葉遣いを意識する』ことを狙うのであれば、初めに、言葉遣いについての確認があっても良かったと思います。
- ・分からない所の確認について、「まずはプリントを確認してから、隣の人に確認して、それでも分からなかったら先生に聞くように」と指示していましたが、実際にプリントを見て確認している生徒が少なく、なんとなく側にいる教師に聞いたり、先に教師が答えてしまう様子があったと思います。
- ・協同学習の要素の④については、「職場を想定して、敬語を使ったコミュニケーション」の要素以外についても、協同学習の要素を増やして行くと良いと思います。例えば、二つの画像を見比べ、「二つのもの（こと）の同じところや違うところを比べる（比較する）。」のような協同学習スキルを活用して、考えるスキル、集団活動スキル・コミュニケーションスキル、教科固有のスキルを鍛えていくことが大切であると思います。情報固有のスキルも今後検討してください。

⑤チームの振り返り

- ・個人で単元の振り返りを行っていましたが、個人だけではなくペアでも同様の振り返りを行うと⑤チームの振り返りにつながると思いました。
- ・⑤ワークシートを用いて振り返りを行ったり、作ったポスターを見返したりするだけでも、十分な振り返りができていました。
- ・⑤振り返りシートも2人で反省できる項目があれば、協同学習を深められると思いました。
- ・「振り返り」の際に、生徒は振り返る観点をつかむまでには育っていません。振り返る際の観点を明確化して生徒に提示されると良いと思います。

協同学習全体を通して

- ・2日間で2コマ。たった4時間の活動で終わることができたのは、事前の準備がよかったからだと思います。チーム（コンビ）で活動させる工夫ができていました。
- ・2人の力が合わさり、1枚のポスターを作成するという事で、協同学習の要素が分かりやすかったです。
- ・話し合わなければ進めることが難しい状況を上手く作り出すことができていた授業だったと思います。
- ・グループによって話し合いの盛り上がり方に差はありましたが、STで対応できる範囲だったと思います。
- ・学習指導案に「協同学習の要素や配慮事項」が明記されていて、どのようなことに留意して授業を展開しようとしているのかが分かりやすく、良かったです。特に、協同学習の要素が①～⑤まで全て含まれて授業が展開されていました。

授業を通しての感想（良かったところ・改善点など）

- ・教師の発問に対する回答を認め、賞賛するタイミングが良かったです。
 - ・実際に黒板に移し教えることによって生徒にとって分かりやすく良かったです。
 - ・ワードアートとテキスト文章の違い等P Cについて難しい単語が授業の中で出てきがちになりますが、生徒にとって分かりやすく違いを説明していたのが良かったです。
 - ・前時の振り返りから始まり、専門用語もきちんと習得できる授業になっていました。
 - ・常に、教師に注目するように配慮していました。プリントに注目している生徒に対し、「こちらを注目してください。」と声をかけていました。
 - ・コンピューター室が狭いこと、P Cの台数が少ないことなど、情報の授業を行うのにマイナスの要因しかない中で、ペアでP Cを共有する、教室を2展開で行うなどの工夫がされており、今後の参考になりました。
- ただ、今後、情報の授業を行うことを考えると継続的な指導は難しいのではないかと思った。また、情報に特化した教員が2名いるからできる授業ではないかとも感じました。
- ・『ポスターを作り校内に掲示する』という目的が分かりやすく良かったです。
 - ・生徒の活動の際に「ペアでの活動時はなるべく見守る形で・・・」と指導案にはあったが、S Tが関わり過ぎていた感じがしました。
 - ・やることが明確になっていて生徒が活動しやすかったと思う。
 - ・黒板にパワーポイントを写すなど、授業のスキルも学習させていただきました。
 - ・ポスターを作った後、掲示するという目的がしっかりと伝わっていて、生徒の意欲につながっていたと思います。
 - ・説明の要領が良く、生徒にとって分かりやすい説明となっていました。また、「3分間、〇〇して。」などと時間を区切って指示することで、生徒は集中して取り組むようになっていました。
 - ・また、「画像が終わった人は手を挙げて。」など、生徒の学習状況を見てタイミングよく次の指示を出しており、一斉指導の進め方が良かったです。
 - ・画像入力途中、仕事のペアの生徒とどのようなときに話をしたら良いか考えるように投げかけ、生徒の話し合う声が大きくなったとき、「どうするのだったか。」と問いかけ、生徒の適切な反応を引き出しており、とても良い対応でした。また、ワードアートがどこか分からないまま、生徒達が作業している様子に気付いて、一斉指示をした対応も良かったです。
 - ・画像を選ぶ作業では、一人作業になっており、この場面で生徒同士のコミュニケーションがありませんでした。全体指示または、S Tによる介入が必要でした。
 - ・S Tは自分が担当する生徒以外にも、必要に応じて課題のある生徒や学習につまずきのある生徒に対して、指示や助言をする必要があります。
 - ・黒板に授業の流れを示す紙が掲示されていましたが、生徒集団の規模から考えると、文字サイズが小さかったです。見やすい掲示を工夫していくことで、掲示の趣旨が生かされると思います。
 - ・「うわっ。敬語が溢れてきた。」という発言は、授業者と言うよりも、傍観者の立場を意味する発言です。「ちょっといい。」「お、いいんじゃない。」「じゃあ、さあ。」「何かスゲー。」などのS Tの言い方は、言い方のモデルを示す立場の教師としていかがなものかと思います。また、手をポケットに入れて話すことも、不適切です。暖房機に腰掛けて授業を行うことも不適切です。指導に当たる者としての自覚をもつことが期待されます。
 - ・MTとS Tの話が重なるときがあり、どちらかを優先するなどの配慮が必要です。一方が話すときには、

他方は発言を控えるなどの対応が望ましいと思います。

- ・ 参観者が学習中の生徒に話しかけることはいかななものかと思います。

【全員授業研究 振り返りレポート】

- ① 協同学習の要素を取り入れた授業についての感想。
- ② 授業全般を通して、良かったところ、改善すべきところ。

単元・題材名	総合「コンピュータについて学ぶ」	生徒	農業科1年A組生徒6名 生活家庭科1年生徒8名
		場所	コンピュータ教室
日時	平成28年10月5日(水) 1, 2校時	授業者	小林 和幸

① 協同学習の要素を取り入れた授業について

ペアを組んだことで、②対面的なやりとりをせざるを得ない状況になり、生徒同士の対話に結びつけることができた。2人で1つのポスターを完成させることを目標に設定したことで、①互恵的な相互依存関係を意識させることができた。ワードアートと画像処理といった2つの仕事のうち、どちらかを担当する決まりを設けたことで、③個人としての責任を意識させることができた。

④協同学習スキルの面では、生徒同士が対話する場面では仕事をイメージさせ、敬語の使用を促したが、最初にはっきりと提示できていなかったため、生徒の様子を見てから途中で意識をさせた。それ以降は、やや変化があり、意識して敬語を使用する様子が見られた。

⑤チームの振り返りは、今回の授業には深く取り入れなかった。コンピュータの技術的な授業の1回目だったため、コンピュータを扱う時間を最優先し、振り返りの時間は単元全体の振り返りを行うこととした。しかし、生徒の感想には協同学習に触れる内容も書かれており、技術面だけでなく、生徒もコミュニケーションを意識できた学習だったことがわかった。

② 総合として、初めて情報の授業を行った。PCを2人1台で行ったが、技術面の情報教育の第一歩としては良かった。中学校で習ったこともある生徒もいたが、改めて本校生徒として学習し、中学校とは違う方法だったと感想を述べる生徒もおり、内容としても適切だったと思われる。

生徒の個の力とペアで協力する力を育てたかったため、分からない時には、①プリント資料を見る②ペアと相談する③教師に相談するという流れを指示していた。しかし、プリント資料は、ワードアートと画像処理だけの内容だったこともあり、プリント資料をあまり見ずにペアで相談したり、教師に相談したりすることが多くなってしまった。また、STの介入はできるだけ少なくする予定でいたが、生徒の様子を見てすぐに言葉がけをしてしまうことが多かった。今後は、就労や生活に活用できるPC関連の知識と技術を3年間で指導したい。また、PC2人1台と1人1台を使い分け、自主的な活動を意識させつつ技術的な向上を促したい。

2 学年「生活単元学習」指導略案

単元・題材名	学校祭を成功させよう。 「学校祭の振り返り」	生徒	2 学年
		場 所	視聴覚室
日 時	平成 2 8 年 1 1 月 2 5 日 （金） 2 ・ 3 校時	指導者	MT : 岩城 研太 ST : 亀田 倫代、山本 拓郎、 山柿 紘子、外山 陽子 藤倉 雄一、能代 麻衣子
単元の 全体目標	・ 今年度のテーマを振り返り、普段の学習に般化する方法・手段を考えることができる。		
本時の目標	・ 学校祭の映像を見て自分や仲間の活動を振り返ることができる。 ・ 努力について考えることができる。		

過程時間	学習活動	生徒の活動	教師の活動	教材・教具
導入 5 分	挨拶	○代表者の号令で挨拶をする。	○挨拶する生徒を指名する。	
展開 映像視聴 約 4 0 分	本時の確認 映像視聴	○本時の授業内容の確認をする。 テーマ「努力」とは何か？ ○ビデオ映像を見る	○本時のめあてと課題を提示する。 ○見やすい位置に移動するように言葉を掛ける。 ○映像を見る視点を伝える。(せりふ、表情、演技、ふりつけ、せりふがないときの動きなど) <協同学習の要素や配慮事項> ・ 映像を見て自分や仲間の演技を振り返るように言葉を掛ける。(③、配慮事項⑪⑮)	パソコン テレビ プロジェクタ
休憩 (5 分)	休憩	○休憩時間にプリントを見直す。	○事前に書いたプリントを見直し、新たに気付いたことがあれば記入するように促す。 ※ST は A 3 のプリントを教室に貼る。	プリント① (A 4) プリント(A3)
後半 3 5 分	ふりかえり①	○仲間から見た自分の努力したところを確認する。(5 分)	○仲間が見ていた自分の取り組み方を確認し、自分の考えと照らし合わせる。	
	ふりかえり②	○仲間が努力したことを確認する。(5 分)	○他の仲間の取り組み方がどのように捉えられているかを確認する。	
	協同学習①	○仲間と努力について意見を交換し合う。(5 分)	○仲間と話し合い、努力について考えを深める。 <協同学習の要素や配慮事項> ・ 努力についての捉え方は人それぞれであることに着目させる。 (②、配慮事項②③⑤⑫⑬⑭⑯)	プリント② (A4)

	ふりかえり③	○努力について自分の考えをまとめる。(5分)	○自分の考えをまとめる。	
	発表①	○努力について自分の考えを発表する。(3分)	○自分の考えを発表する。(4人くらいを予定)	
	発表②	○仲間の考えを聞いて気付いたことを発表する。(2分)	○仲間の発表を聞いていて新たに気付いたことがあれば発表するように促す。	プリント② (A4)
	協同学習②	○集団で努力したことについて話し合う。 (5分)	○現代と過去グループに別れて話し合うように伝える。 <協同学習の要素や配慮事項> ・集団として努力したことについて話し合いが広がるように促す。(③、⑤、 配慮事項②③⑤⑫⑬⑭⑯)	パソコン テレビ プロジェクタ
	発表③	○集団で努力したことについて発表する。 (5分)	○話し合ったことについて代表者が発表する。	
	映像視聴	○もう一度、映像を見る。 (5分)	○映像を見せ、観客の反応に気付かせる。	
整理 5分	MTより	○MTの話を聞く。	○努力の仕方や捉え方は人それぞれ異なる。 ○努力をしている姿は見ている人を真剣にさせる。努力が重なれば大きな感動が生まれる。	
	次時の学習内容の確認	○次回の授業の内容を確認する。	○次回の授業について説明する。	
	挨拶	○代表者の号令で挨拶をする。	○挨拶をする生徒を指名する。	

(凡例)「前時の復習…」～授業の流れの骨子、「○互いに教え合う…」～協同学習に関わる教師の活動

※(①)… 互恵的な相互依存関係、(②)… 対面的なやり取り、(③)… 個人としての責任
 (④)… 協同学習スキル(⑤)… チームの振り返り

※(配慮①～⑰)… 配慮事項については、マニュアルP8～10参照。

※(配慮☆)… オリジナルの配慮事項。

授業参観者アンケート

授業者：岩城 研太
協同学習（各要素）についての評価
① 互恵的な相互依存関係 ・略案に協同学習の要素①が記入されていないのが気になりました。学習者を小集団に分け、互恵的な相互依存関係を基に行うのが協同学習の基本となります。
② 対面的なやりとり ・仲間の「頑張っている点」や「良かった点」を事前にワークシートに記入したものを、MTがまとめ提示していました。「②対面的なやりとり」が果たされ、仲間に認められたという自己肯定感にもつながり良かったと思います。 ・話し合い活動では、1年次からの積み重ねがされていると感じました。そのため、教師の指示が少なくても生徒が自主的、主体的に行っていました。
③ 個人としての責任 ・ビデオを見て学校祭の振りかえりを行う際、「セリフを言っている時や、しゃべっていないときの動きを見てください」との言葉かけがあり、「③個人としての責任」の要素が含まれており分かりやすかったです。
④ 協同学習スキル ・色々な人のプリントを見ると、どのように、どのような視点で見ると良いかなど、協同学習スキルとして指導できたと思います。 ・発表するときは、生徒全員を話者に向かせることが必要だと感じました。
⑤ チームの振り返り
協同学習全体を通して ・自由度が高すぎるが多かったので、条件をある程度しっかり決めて指導すると良かったと思います。 ・小グループの活動での意見交換はとても良いと思いましたが、もう少し人数を分けてもよいと思いました。 ・ふりかえり①、②、③ 協同学習①、② では集団で話し合ったり、指摘し合ったりする場面が多く見られました。（対面的なやりとり、個人としての責任、協同学習スキルが含まれており非常に良かったです） ・特に、ふりかえり③では「努力について」は自分で考える、みんなで意見を交換し合うことができおり非常に良かったです。 ・壁に周囲からどのような評価をされているのかを紙にしてはることで、口頭で発表するよりも分かりや

すく伝わるなと思いました。

- ・協同学習の要素が多く組み込まれている良い授業であった。

授業を通しての感想（良かったところ・改善点など）

- ・特に、家庭科の生徒に対する ST の動きが不十分でした。
- ・曖昧な話し方が多いので指示を出すときは、もっとはっきり言い切った方がいいと思います。
- ・発表をどこですのか質問されたときに「どっちでも良い」という答え方はダメだと思います。生徒の気持ちをもっと考えた方が良いと感じました。
- ・説明するときは、いったん手を止めさせて説明したほうがよいなと思いました。
- ・事前に集約した仲間からのアンケート結果を見て振り返るというのは、生徒にとって努力したところ、改善すべきところが客観的にわかりやすくとても良い取り組みであると感じました。
- ・教師の質問、設問を生徒は理解できていたのか疑問に感じました。（質問の仕方、言葉）
- ・映像を見て振り返るということは非常に良いが、参観者からすると何のメリットもない。3 h からの授業公開で良かったと思う。
- ・生徒が発表する際、「前ですか？ここですか？」と質問してきたことに対し。「どちらでも良い」という回答をしていましたが、次の発表者につなげるためにもはっきりと決めた方が良かったと思います。
- ・演劇のテーマである「努力することの大切さ」を、振り返りを通して生徒に確認し伝えることができて良かった。
- ・ビデオを見て学校祭の振りかえりを行う際、「セリフを言っている時や、しゃべっていないときの動きを見てください」との言葉かけがあり、どこを見て振り返ればよいのかわかりやすくて良かったです。

【全員授業研究 振り返りレポート】

- ① 協同学習の要素を取り入れた授業についての感想。
- ② 授業全般を通して、良かったところ、改善すべきところ。

単元・題材名	学校祭を成功させよう。	生徒	2 学年 22 名
	「学校祭の振り返り」	場 所	視聴覚室
日 時	平成 28 年 11 月 25 日（月） 2 ・ 3 校時	授 業 者	岩城 研太
① 今回の授業で協同学習を通して生徒に学ばせたかったことは、『ペアでの話し合い』と『集団での話し合い』とを通して、「自分の考えを相手に伝えること」、「様々な意見を聞いたり、取り入れたりしながら自分の意見としてまとめること」であった。特に、学年劇のテーマである「努力」については人それぞれで価値観が異なったり、個人と集団では努力の仕方が変わったりすることを学ばせたいと考えた。 ※以下、参観者アンケートも踏まえての授業の感想 ・ 学習集団を「過去グループ」と「現代グループ」に分けて行った。本番までに練習してきた集団であったため、事後学習でも同じ内容で振り返らせたかったが、実際は生徒の実態差に対応できない面もあった。 （テーマから逸れた意見を言う生徒に対して仲間がフォローする場面があった。生徒の成長とも言えるが、本来であればMTやSTが対応すべき場面であった。） ・ 「劇中の自分の役割やセリフ」を観客に伝えるために、「自分自身が思う努力」と「相手からみた努力」とを対比させる学習を取り入れた。同様の内容を一年時に取り扱っていた経緯もあり、生徒に対し「見られ方」や「他者評価を受け入れる」など一定の効果があったと考える。 ② ・ 仲間からのアンケートを掲示することで、相手からの見られ方や他者評価について効果的に理解できたように考える。素直に受け取る生徒も増えるなど、一年時からの成長を感じた。 ・ 教師からの指示が少ない状況でも生徒同士ですすんで話し合いを行うなど、自主的な行動の下地ができてきた。今後の授業にも協同学習を取り入れ、伸長を図る。 ・ 協同学習の要素を取り入れたが、配慮事項が多くなりMTの容量を超えてしまった。次回からは選別し、MTがしっかり把握するとともにSTへの指示出しも確実に行っていく。 ・ MTの指示や説明が抽象的であり不十分であった。学習のルールや取り組み方などを含め、発言全体を明瞭、簡潔なものにしていく。			

生活単元学習

①②③～学年

協同①ー「互恵的な相互依存関係」

「クラス（班）の全員が課題をクリアする。」、「班で各自が自分の役割を果たし、協力して壁新聞を作る。」など、目標、活動、教材、役割分担、評価や成果（例えばでき上がった作品・製品の他、賞状、達成のご褒美シールなど）などについて互いに協力を必要とするような関係を具体的に書いてください。

- ・外国の高校生と交流する学習で様々な係で活動した内容、結果を模造紙にまとめ完成させる。①
- ・校外学習で使用するしおりを係ごとの役割を果たし協力して完成させる。①
- ・班で作業分担して、各自が自分の役割を果たし壁新聞を完成させる。①
- ・ワークシートに書かれている課題をすべて埋めるために教科書を使用して、ページ毎に役割を分担して調べ学習を行う。①
- ・男女ともに実態別に分かれ、飲酒や喫煙、薬物に対する話題や知識を共有しまとめる。②
- ・男女の違いについて知るために、ペアとなり意見を言い合い、ワークシートの空欄をすべて埋める。②
- ・異性との接し方やデートDVについて学習したことをグループに分かれ話し合い、画用紙にまとめ話し合った内容を他グループに発表する。③
- ・職場見学後感想を一人一つあげ、模造紙に系統別に（すごかったこと、不安なことなど）感想を分類したものを完成させる。①
- ・施設見学で見学してきた作業所について、グループに分かれ「事業所の規模」「従業員の様子」「見学してきた感想」の3項目を話し合い画用紙にまとめ完成させる。①
- ・施設見学先の職員が話していた「働くために必要な力」について複数テーマを設定して、興味をもったテーマごとにグループに分かれ話し合い意見をまとめる。②
- ・施設見学で見学してきたことを読み手を意識してまとめ完成させる。（※後輩（1年生）が読んでわかるような内容、書き方に気をつける。）②
- ・宿泊研修の事前学習で、グループごとに別れグループメンバー全員で話し合っって自主研修の行程を考える。（見学先やルート、使用する交通機関など）②
- ・宿泊研修で見学先について、他学年が見てどのような活動を行ってきたのかが分かるように学んだことを壁新聞にまとめる。②
- ・見学旅行後に自主研修でのグループごとに見学した場所についての紹介、感想を話し合い模造紙にまとめ完成させる。③
- ・スマートフォンを使用したインターネットの危険性を学習した内容を基に、トラブルの解決策や巻き込まれないためにすべきことを話し合う。また、話し合った内容をホワイトボードに書きまとめ、完成させ他のグループに発表する。③
- ・ペアに分かれ、パソコンを使用して1枚の学校祭案内のポスターを完成させる。①
- ・学校祭の劇で場面毎にグループに分かれ、話し合いながら練習を行い全員が演技を覚える。①②③
- ・学校祭の劇練習で演技を行ったグループごとに分かれ、見どころを協力して模造紙にまとめ完成させる①
- ・学校祭の劇で行うダンス練習で、全員のタイミングが揃うまで声をかけ合いながら協力して練習

を行う。②

- ・学校祭で披露するダンスの振り付けを全員で協力して考える。②
- ・調理実習に向けてグループで決めた調理の際の役割をそれぞれ果たして、協力して料理を完成させる。③
- ・五大栄養素を含んだ料理の献立をグループごとに協力して考える。②
- ・調理実習に向けて、献立をグループやクラス全員で考えまとめる。③
- ・調理をグループやクラス全員で協力して成功させる。③
- ・調理実習後に、各グループの成果や反省を行い役割分担をして模造紙にまとめ全体の前で発表する。③
- ・会話する相手が心温まる言葉をグループで意見を出し合い2つ以上考えまとめる。①
- ・相手に良い印象を与える話し方についてグループで意見を出し合い考えまとめる。①
- ・卒業生からの進路講話で、仕事面と生活面の質問と質問者を各学級内で意見を出し合って決定する。③
- ・卒業生が失敗した事例や実体験について、一般就労グループと福祉的就労グループに分け、自分達と同じ失敗を繰り返させないために結論、答えを出す。③
- ・卒業後に向けて、仕事面と生活面の悩みについて一人一人意見を出し合い、グループ全員が解決策を導き出す。③
- ・卒業生を送る会の出し物で歌う曲の歌詞を全員で覚える。①
- ・卒業生を送る会に向けて、各グループが協力して、ダンスパートの振りを完成させる。②
- ・卒業生を送る会の出し物で行う、セリフや動きを全員で協力して覚える。③

協同②ー「対面的なやりとり」

仲間同士、援助したり、教え合ったり、議論したり、励ましたり、誉めたりし合うことで生徒がお互いの（学習の）成功を促進し合う機会を授業場面で設定してください。

- ・外国の高校生との交流に備え、ワークシートの例を参考に自己紹介の練習をペアで行い、分からないところを教え合う。①
- ・外国の高校生との交流学习で、係ごとに集まりワークシートや写真で振り返りながら、自分の目標を達成できたか話し合い、他の係と発表し合う。①
- ・学習内容をまとめた模造紙を基に発表し、良い部分などを意見交換する。①
- ・係活動ではリーダーを決めて、リーダーを中心にどのような仕事があるのか意見を出し合う。①
- ・男女のグループに分かれて、異性について意見を出し合う。①
- ・男女ともに実態別に分かれ、性に関する話題や悩みを共有し合う。①
- ・現場実習先へ事前訪問に行く際の質問を決める時、設定時間や必要な質問をグループ全員で話し合って検討をする。①
- ・宿泊研修の自主研修の行程について、メンバーがそれぞれ意見を発表し合う。その後、「与えられたテーマに沿っているか」「制限時間内にめぐることができるのか」など全員で意見を出し合う。②
- ・宿泊研修の自主研修で学んだことについて壁新聞を作成する学習で、記録したメモや覚えていることを基に話し合う。②
- ・見学旅行の学級の研修や、自主研修のグループ活動で行き先について意見を出し合う。③
- ・見学旅行で行く研修先について、ペアで話し合って協力しながら調べシートにまとめる。③

- ・男女共に実態別に分かれ、性に関する話題や悩みを共有し合う。②
- ・異性との接し方、将来飲酒や喫煙をするのか、デートDVについてグループ内で話し合う。③
- ・スマートフォンを使ったインターネットの危険性について事例をいくつか上げ、グループで対応先を話し合う。③
- ・社会や学校の決まりを確認して、自分の課題や実態を照らし合わせてグループ内で話し合う。③
- ・自分の進路に対する不安に思うことをグループ内で発表し、その不安に思うことについて助言し合う。③
- ・卒業生から前提実習や、就労について話しを聞く際に座席が隣の仲間と出た意見を確認し合う。③
- ・卒業生からの話を聞きメモを取る際に、仲間とメモの取り残しが無いか確認し合う。③
- ・前提実習の決意発表に向けて、話す内容が覚えられているかペアで確認し合う。③
- ・前提実習の決意発表会に向けて発表する内容を暗記できているかペアで確認し合う。③
- ・衣服のシミ抜きをするときに、上手に落とすためにはどうすればよいかグループで話し合う。①
- ・グループの代表者が、落ちたシミと落ちなかったシミを発表し合い、グループごとの実践結果を知る。①
- ・衣服の畳み方について、綺麗なままで保管しておくには、どのようにしておかなければならないかグループで話し合い実践する。①
- ・学校祭の劇練習で、どのように演技をしたら観客が見やすく伝わるかグループで話し合う。①
- ・パソコンを使用して学校祭の案内のポスターを作成するときに、複数の仕事を誰が担当するのか話し合って決める。①
- ・パソコンを使用して学校祭の案内のポスターを作成するときに、デザインや色などで迷ったらペアで相談し合う。①
- ・施設見学先へ各自が質問を考え、符箋に書いて意見を出し合い適切な質問を考え話し合う。①
- ・学校祭の劇練習で、自分や仲間のせりふや気持ち（与えられた役割）を観客に分かりやすく伝えるための手段（声の出し方、動き、表情など）を考え話し合う。②
- ・学校祭の劇で場面ごとにペアやグループに分かれ、劇のセリフや演技を正しくできているか確認し合う。③
- ・学校祭の劇練習で他の人の演技を見て、良かった点や改善点を指摘し合う。③
- ・グループで食材に含まれる栄養素を話し合いながら正しく分類する。①
- ・調理実習の事前学習で、調理をする際の役割分担をグループで話し合って決める。①
- ・調理実習で包丁の扱い方や火加減の調節法について仲間に教え合う。②
- ・ペアやグループで調理器具の確認や、調理内容を確認し合う。③
- ・グループに分かれて、相手が心地よくなる話し方や、聞き方について意見を出し合う。①
- ・教師が会話のデモンストレーションを見せ、良い点や悪い点についてグループで話し合う。①
- ・お洒落と身だしなみについて自分の意見を持ち寄り、違いについて話し合う。②
- ・髪の毛のまとめ方について知っていることを持ち寄り、実演したり、教え合ったりする。②
- ・グループごとに3年生のうちに身につけなければいけない力を話し合い、明確にした上で、各グループの意見を発表し合い、共有する。②
- ・卒業生の事例や実体験を踏まえ、どうすれば良いかを考え話し合い発表し合う。③
- ・近い分野の就労先でグループに分かれ、卒業後の仕事面生活面の不安に思うことについてアドバ

イスし合う。③

- ・自分達の就労先について知っている情報を教え合う。③
- ・この1年間で成長できたことや改善点をグループで発表し合う。①
- ・卒業生を送る会に向けて、合唱の担当パートごとに集まって練習して、改善すべき点について話し合う。①
- ・卒業生を送る会の出し物について、ペアやグループで練習し確認をする。③
- ・他の人やグループの様子を見て、良かった点や改善点を指摘し合う。③
- ・卒業式の「喜びの言葉」の練習をペアで行い、台詞の暗記や声の大きさが適切か確認し合う。③

協同③ー「個人としての責任」

生徒一人一人には個人の責任があり、自分のやるべき役割を果たして個人目標に到達できるように、一人一人の活動や役割を設定して書いてください。

- ・学級内で担当を決め、各自が自分の役割を果たすことで壁新聞を完成させる。①
- ・ピリカアウトドア、バーンサイド高校との交流ともに、一人一人に役割を決めて自分で決めた目標を意識して活動する。①
- ・リーダー、書記、発表する人など一人一人の役割を決めて学習する。①
- ・グループで意見交換をするために一人一人同性・異性の良いところについて考える。①
- ・あらかじめ担当を決めておき、現場実習訪問先で一人一つ以上質問をする。①
- ・あらかじめ担当を決めておき、施設見学先で一人一つ以上質問をする。①
- ・宿泊研修で訪れる見学先について壁新聞にまとめる学習で、仲間の学習が深まるように自分の担当分野を調べる。②
- ・レク係や保健係など、係の果たすべき役割を踏まえて当日の係活動の内容について考え、そのために必要なプリントなどを各自作成する。②
- ・施設見学で学んできた内容をまとめる活動で、記録してきたメモや覚えていることをもとに仲間で話し合い役割を決める。②
- ・進路学習の一年間の流れを確認し、自分の進路について自ら考え発表する。③
- ・見学旅行の学習で、生徒の係活動を設定して各自与えられた役割を果たす。③
- ・見学旅行の自主研修での活動のまとめを模造紙に記入する際に、自分が何をしなければならないのかを明確にし、個人の役割を果たす。③
- ・学級や自主研修のグループで研修のテーマを設定し、そのテーマにあった研修を考え、調べ学習の役割分担を設定する。③
- ・異性との接し方やデートDVについて学習したことをグループでの話し合いの前に、自分の考えをワークシートにまとめる。③
- ・異性との接し方やデートDVについて、画用紙に記入する際に、自分が何をしなければならないのかを明確にし、個人の役割を果たす。③
- ・グループで話し合いをする際に必ず一つは自分の意見を述べるという場面を設定する。③
- ・話し合い活動のときに自分の意見を必ず一つは言う。③
- ・模造紙にまとめる際に、自分が何をしなければならないのかを明確にし、個人の役割を果たす。③
- ・卒業生からの進路講話で質問する内容を一人一つ決め役割を与える。③
- ・前提実習決意発表会に向けて、発表内容について各自事前の準備をする。③

- ・学校祭の劇の一人一人が配役を知り、また目標を考えて、自分のすべきことを明確にして活動する。①
- ・学校祭の案内のポスターをパソコンで作成する学習で、二人がそれぞれ自分の担当を責任持って行うことで、仲間との協力とポスター制作の目標を達成できるようにする。①
- ・学校祭の学習で個人に与えられた配役を理解するための時間を設け、担当する役を演じる。（配役の人柄や見どころなどを記入するワークシートを用意する。）②
- ・学校祭の劇で使用するバック絵を作成し、演じる以外にも劇を作り上げていく役割があることを伝える。②
- ・学校祭の劇練習で実態に合わせて台詞の順番が生徒に分かりやすいように配役を構成して役割を与える。（双子や親子、夫婦など）②
- ・学校祭の劇練習で全員がセリフや演技を覚えるために、自分の役割として暗記したり演技を覚えたりして、仲間と協力し合って発表する。③
- ・シミ抜きの種類をいくつか用意し、担当を決めて奇麗に落とせるように、数種類の道具を使って実践する。実践後、どこまでシミが落ちたのかを報告し合う。①
- ・一カ月に係る光熱費についてグループで役割を決め、調べる。②
- ・調理実習で自分の役割分担を確認して調理する。①
- ・調理実習の事前学習でメニューを見ながら調理の役割を考える。②
- ・調理をするときに、切る、煮る、焼く、盛り付ける、洗うなど全員に役割を与え、自分の役割に責任を持たせる。③
- ・グループで出した意見をホワイトボードに書く人や発表する人をそれぞれ決める。①
- ・一人一人がクラスメートの長所を考え、プリントに記入する。①
- ・活動の際は、役割分担をそれぞれ決めて、協力して作業をする。①
- ・卒業生に向けて、一人一人が感謝の気持ちなどのメッセージを書く。②
- ・グループ学習の際に、意見を出す、まとめる、発表するなど自全員に役割を与え、自分の役割に責任を持たせる。③
- ・卒業後の仕事、生活面で不安に思うことについてアドバイスし合う際に、必ず一人一つアドバイスをする。③
- ・卒業生を送る会での出し物の流れ（台詞なども含む）を各自で覚える。③
- ・卒業式の「喜びの言葉」で自分の担当する文章を一人一人が考える。③

協同④ー「協同学習スキル」（考えるスキル・集団活動スキル・コミュニケーションスキル、教科固有の協同学習に関わるスキル）

より質の高い協力と学習ができるように、授業で指導する社会的スキルと教科固有のスキルを書いてください。

- ・学校祭の案内のポスターをパソコンで作成する学習で、分からないことがあるときには、まず、自分で調べ、それでも分からないときにはペアに聞く。①【考えるスキル・コミュニケーションスキル】
- ・作業が終了するごとに、教師に報告をする。①【コミュニケーションスキル】
- ・パソコンで学校祭の案内のポスターを作成するときに敬語を使うことで、仕事としてのコミュニケーション力の向上を図る。①【コミュニケーションスキル】
- ・パソコンの操作について教師に質問をするときには、教師を呼ばずに自分から近くへ行き質問する。①【コミュニケーションスキル】

- ・学校祭の劇のグループで発表を行う際は発表者の方を見て話を聞くよう意識させる。①【集団活動スキル】
- ・学校祭の劇の練習する時間が限られているので、少しでも長く練習時間を確保するため「移動する時間を早くしよう」などグループで声を掛け合う。①【集団活動スキル・コミュニケーションスキル】
- ・学校祭の劇の練習で台詞を見て、自然な言い回しや動きを考える。②【考えるスキル】
- ・演劇活動（表現活動）を通して現在の自分の課題に気づき、改善するための努力を行う。（声の出し方、台詞を言わないときの演技、気持ちを伝える動き、人任せの態度など）②【考えるスキル】
- ・学校祭の劇の練習で他のグループの演技を見ているときの座っている姿勢を意識する。③【集団活動スキル】
- ・今金町についてのオリエンテーションで「役場」、「図書館」、「体育館」で疑問に思ったことをそれぞれ質問する。①【コミュニケーションスキル】
- ・発表するときは、声の大きさを意識しながら発表を行う。①【コミュニケーションスキル】
- ・グループごとに意見を発表し合う際、相手の意見を否定することなくメモにまとめる。①【集団活動スキル】
- ・自由に意見を出し合い、相手の意見を批判しない。（ブレインストーミング）①【コミュニケーションスキル】
- ・グループの話し合いの報告を聞いて、気になったことや質問を行い、話し合いの内容を全員で深める。②【集団活動スキル】
- ・他の人の気持ちを予想する。②【集団活動スキル】
- ・実際に起こった事件の事例に対して、相手の立場になって考える。②【集団活動スキル】
- ・学んだことを普段の生活に関連付けて考える。②【考えるスキル】
- ・事業所ごとに必要な「働く力」に着目しながら見学をする。②【考えるスキル】
- ・江差福祉会以外で進路を考えている生徒は、自分の進路先と比較しながら見学をする。（職場の雰囲気、従業員の様子など）②【考えるスキル】
- ・宿泊研修の自主研修についてグループ内で行きたい見学先について意見を自由に出し合う。②【コミュニケーションスキル】
- ・性についての話題に対し、真剣に聞く。②【集団活動スキル】
- ・見学旅行の自主研修のまとめの発表を聞く際に、正しい姿勢や相手を見て話を聞くことを意識させる。③【集団活動スキル】
- ・講話などの活動を通し、話を聞く際の正しい姿勢や態度について触れ、意識させる。③【集団活動スキル】
- ・相手が抱えている不安を否定せずに話し合いを進める。③【コミュニケーションスキル】
- ・自由に意見を出し合い、相手の意見を否定しない。③【コミュニケーションスキル】
- ・卒業生に発表する際に大きな声で発表をする。（聞く姿勢）③【集団活動スキル】【コミュニケーションスキル】
- ・相手の話を聞く姿勢（傾き等）を意識させる。③【集団活動スキル】
- ・発表者を否定せず尊重する。③【コミュニケーションスキル】
- ・質問検討時に自由にアイデアを出し合い、相手の意見を批判しない。①【コミュニケーションスキル】

- ・割当たった仕事がまだ終わっていないメンバーのことを手伝う。①【集団活動スキル】
- ・話し合った内容をまとめた模造紙を基にしたグループごとの発表では、発表しているグループの方に体を向ける。①【集団活動スキル】
- ・グループで意見を発表し合う際に、相手の意見を否定せず共感する。①【コミュニケーションスキル】
- ・グループの発表のときは、発表する人の方を見て話を聞く。①【集団活動スキル】
- ・他人からの見られた方と自己判断という観点を取り入れてお洒落と身だしなみの違いについて話し合う。②【考えるスキル・コミュニケーションスキル】
- ・前単元での学習を生かし、話し合いの中で話を進める人、サポートする人、全員が意見を言う、意見を聞くということを意識して話し合いをすることができる。②【集団活動スキル・コミュニケーションスキル】
- ・クラスやグループでまとめた意見を聞く際に座っている姿勢を意識する。③【集団活動スキル】
- ・卒業後の仕事、生活面で不安に思うことについてアドバイスとして自分の考えを打ち明ける。③【考えるスキル・コミュニケーションスキル】
- ・仕事、生活面で不安に思うことについて相談する。③【コミュニケーションスキル】
- ・仲間の仕事、生活面で不安に思うことについて相談に乗る。③【考えるスキル・コミュニケーションスキル】
- ・他の人や他のグループの発表を見ているときの姿勢を意識する。③【集団活動スキル】

同⑤ー「チームの振り返り」

どのように援助し合ったり、協力し合ったりしたらチームがうまくいったのかについて、書いてください。

- ・校外学習の活動内容を分割した模造紙に、担当する部分を各係で決めて話し合っまとめる。分割した模造紙を一つに合わせ各係で発表後よりよい方法は何があったか振り返る。①
- ・分かったことは青の付箋に、疑問に思ったことは赤の付箋に、感想は黄色の付箋にそれぞれ記入し、項目について色分けをして振り返りを行う。①
- ・グループ内で話し合った内容を全体の前で発表して、その発表の仕方（話す速さ、相手への伝わり方）がどうだったか振り返る。③
- ・映像を見て、自分の考えた目標に対しての反省をグループで話し合う。①
- ・パソコンで学校祭の案内のポスターをペアで協力して作成した際、ワークシートに技術的な難易度や仲間との協力などを選択形式で振り返る。①
- ・学校祭の劇練習で、仲間同士で自分達の演技を鑑賞し、さらに向上させるための改善点（声の出し方、動き、表情など）について意見を出し合う。②
- ・学校祭の劇練習で自分の演技を見て、さらに向上させるための改善点を考える。②
- ・学校祭の劇練習で自分が所属するグループの表現力（観客に伝えたいこと）を高めるための方法を考える。②
- ・学校祭の劇の総練習の映像を見て自分達の演技で良かったところ、改善すべきところを振り返りグループごとに確認して練習を行う。③
- ・個人で反省したことをグループで話し合い、良い点や改善すべき点に分けて模造紙にまとめる。①
- ・調理実習後、味や手順について確認し、次回気を付けることをまとめる。②

- ・調理実習後に、各グループの成果や反省を行い模造紙にまとめ全体の前で発表する。③
- ・「卒業生を送る会」の動画を見直し、良かった点、改善点を振り返る。②

成果と課題

- ・協同学習を取り入れた係活動の時間を増やしたことにより、協力し合って物事を解決する力を養うことができた。①
- ・グループごとに意見を発表したことを、ホワイトボードに記入し様々な意見があることを学ぶ機会となった。①
- ・入学後初めてのグループ活動を行い、最初は教師の投げかけが必要だったが慣れていくうちに生徒自身が声を掛け合って作業を進めていた。①
- ・協同学習スキル（集団活動スキル）として役割を分担し、終わった人はまだ終わっていない人の手伝いをするので、協力して作業することができた。①
- ・新聞を作成するにあたってマジックやマスキングテープなどの道具を使って、どのように作成するかをグループで話し合って進めることができた。①
- ・男女の体の仕組みの違いや異性、同性同士で付き合いについて異性を交えたグループで悩みや話題を共有することができた。①
- ・全員で意見を出し、相談して質問内容を決めることができた。①
- ・進路の学習で全員が感想や意見を出すことができた。①
- ・進路の学習で全員の感想を基に、今後の方向性や課題を考えることができた。①
- ・宿泊研修に向けての学習で、仲間で話し合う活動を多く設定できた。しかし、話し合い活動で決めたことについてグループだけが知っていたり、仲間同士での確認の量が足りなかったりなどの改善点があった。②
- ・プリント学習で知識の定着を図る活動を行う一方で、全体を通して協同的な活動が少なかった。③
- ・見学旅行に向けての学習で生徒が自主的に研修先を調べ、学習することができた。③
- ・パソコンで学校祭の案内のポスターを作るという一つの目標に向かうことで、二人が自然と協力する形を作ることが出来た。①
- ・学校祭の劇練習で、回数を重ねるにつれ仲間同士で話し合いができるようになった。教えられた動きを確実に行うことができた。しかし、観客が分かりやすい演技や表現を自分から考え、取り組むという点では受け身な生徒が多かった。②
- ・学校祭の劇練習でグループ練習を多く設定することで、生徒が自主的に練習をしたり、お互いの演技を見合って指摘し合ったりする場面が多く見られた。③
- ・自分の長所や短所を文章に書くことで、生徒一人一人の良い点や新たに課題を見つけることができた。①
- ・手順について仲間と確認し合いながらスムーズに進めることができた。②
- ・「衣食住」に関する基本的な知識を身に付ける学習を中心に組み立て、話し合い活動ではそれぞれが学んだことを出し合った。さらに知識を深めたり、新しいことを学んだりする場面も見られた。②

解決策（解決策の方向性）

- ・協同的な学習の下積みとなる知識の定着を図る活動と協同学習のバランスを考える。②
- ・パソコン使用した授業では個々の技術レベルの差があるため、基礎技術習得のための授業を増やす。①
- ・学校祭の劇練習で「どのように考えたら演技や振り付けが向上するか、」また、「観客が分かりやすい演技とはどのようなものか」といったことの改善のための考え方を協同学習スキル（考える力）として、しっかりと教えてから生徒同士での話し合いにつなげる。②
- ・学校祭の劇を通して、協同学習スキル（考える力）として個人の表現力を高めることが生徒の将来にどのように役立つかについて具体的な例を挙げながら教えていく。②
- ・協同学習の要素を学習に取り入れ自ら身に付けた知識を深め、仲間との関わりを通して相手の意見を受け入れる、新たなことを知るといった経験を積ませていく。②